

ご提供いただきたい情報

<ホームページ>

ニュース	研究トピックス	入試情報	メディア情報
イベント開催報告	研究成果 (=プレスリリース)	学生募集要項配付	テレビの告知
学生の活躍	メディア等で話題 になった研究	入学選抜実施教科・科目 等	ラジオの告知
協定締結	受賞・表彰		

・文教ニュース&文教速報
・コンシェルジュ（受験生向け）
・ニュースレター（保護者、地域向け）

・コンシェルジュ（受験生向け）
・ニュースレター（保護者、地域向け）

イベント	学内向け お知らせ
公開講座	学生教職員向け イベント
講演会・セミナー	学生教職員向け お知らせ
その他	その他

・終了後、ホームページ（ニュース）

<プレスリリース>

研究成果	大学主催・共催 のイベント告知	学生の活躍
------	--------------------	-------

・ホームページ（研究トピックス）

・ホームページ（イベント）
・終了後、ホームページ（ニュース）

・ホームページ（ニュース）

ニュース（事業実施報告）

附属中学校で関東財務局による「財政教育プログラム」を実施しました

2016/12/20

12月14日（水）、附属中学校において、財務省と連携した特別授業「財政教育プログラム」を実施しました。

この授業は、全国国立大学附属学校PTA連合会（全附P連）主導の下、国の財政からこの国の在り方について広く子ども達に興味をもってもらい、自分たちの国の未来について考え判断できる子どもを育成することを目的に、社会科の授業の一環として実施されました。

講師として、関東財務局総務部経済調査課長の若尾仁氏ほか10名のアドバイザーをお招きし、第3学年174名の生徒が日本の受益と負担の観点から未来の社会保障について各班ごとに話し合い、グループでまとめた考えを発表した後、質疑応答を通して学びを深めました。

当日は、財務省関係者、本校保護者、全附P連役員、取材関係者など100名近い方にご参会いただきました。この授業の様子は、当日のNHKニュース「首都圏ネットワーク845」で放映され、翌日の埼玉新聞の経済欄に掲載されました。



講師をする関東財務局総務部経済調査課長の若尾仁氏



グループでの話し合い



発表の様子



多くの参会者をお迎えしました

【参考URL】

・附属中学校ウェブサイト

本文について

5W1H

いつ
どこで
だれが
なにを（主催・共催、対象、参加人数）
なぜ（背景、目的）
どのように（内容、質疑応答例）

写真について

全体の様子がわかる写真
講演者のアップの写真
質疑応答時の写真

ニュース（学生の活躍）

経済学部齋藤ゼミが「第6回学生政策提案フォーラムin さいたま」で優秀賞を受賞しました

2016/11/24

「学生政策提案フォーラムin さいたま」は「大学コンソーシアムさいたま」加盟大学の学生が、さいたま市の政策・事業について企画検討・提案するフォーラムで、平成28年11月20日（日）にさいたま市生涯学習総合センターで開催され、本学から経済学部齋藤ゼミナールの学生がエントリーしました。

今年度のテーマは「東日本の交流拠点都市」とされ、子育て・健康・福祉・雇用・経済・観光・防災・まちづくりなどの幅広い分野から、行政の連携に限らず、住民・大学・企業などとも連携・協力しながら、さいたま市を含めた東日本地域全体の活性化を一層進め、連携・協力による相乗効果を生み出せるような取組について、専門的知識や新たな視点を活かした創造的な政策提案を求める内容となりました。

齋藤ゼミナールは、発表テーマを「VR（Virtual Reality）を活用した広域連携による観光促進」とし、近年、様々な分野で利用され始めているVRを活用して、連携都市の観光PRを実施することを提言し、優秀賞を受賞しました。



プレゼンテーションするゼミ生たち



授賞式

ー経済学部3年 高田 暁さんのコメントー

私たちが政策提言をする際に重視するのは、政策の論理性と実行性を保証することです。先日さいたま市で行った提言は、単なるVRを使ったアイデア紹介ではなく、政策を実行する際の運営主体と事業モデルまでを具体的に提示することを目指したものでした。今回優秀賞を受賞できたのも、こうした実行性への配慮を評価していただけたからではないかと思っています。私たちの提言が東日本活性化の一助となれば幸いです。

齋藤ゼミナール参加学生 ○は代表者

○高田 暁（3年）、田川 伽月（3年）、森山 浩平（3年）、江面 悠己（3年）、佐藤 大暉（3年）、小林 哲也（2年）
奥山 千晶（2年）、佐々木 太郎（2年）、大城 爽世（2年）、東山 桃花（2年）、山本 美優（2年）

【大学コンソーシアムさいたま加盟大学】

埼玉大学、埼玉県立大学、浦和大学・浦和大学短期大学部、共栄大学、慶應義塾大学、芝浦工業大学、聖学院大学、日本大学、人間総合科学大学、放送大学、目白大学、国際学院埼玉短期大学

本文について

5W1H

いつ
どこで
だれが
なにを（主催・共催、対象、参加人数）
なぜ（背景、目的）
どのように（内容、質疑応答例）

+α

学生からのコメント

写真について

全体の様子がわかる写真
講演者のアップの写真
質疑応答時の写真
受賞時の写真

研究トピックス（研究成果）

“壊すことで大きくする”革新的なタンパク質結晶育成法を開発 ～様々なタンパク質の機能解明に期待～（大学院理工学研究科 吉川洋史 准教授 共同研究）

2016/10/25

埼玉大学 吉川洋史准教授、大阪大学 丸山美帆子元特任助教（現京都府立大学特任講師および北海道大学低温科学研究所研究員）、森義介教授、横浜市立大学 橋勝教授、東北大学金属材料研究所 小泉晴比古助教、株式会社創晶らの共同研究グループは、レーザーによる破壊プロセスを用いた、大型タンパク質結晶育成の革新的技術を開発しました。

本研究成果は、「Nature Photonics」誌のオンライン速報版で2016年10月24日（英国時間）に掲載されました。（英国時間10月24日16時：日本時間10月25日0時オンライン）

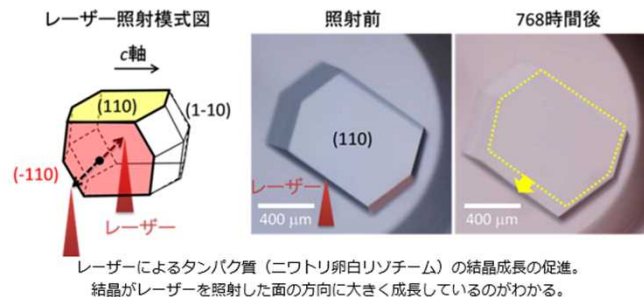
研究成果のポイント

1. レーザーによって結晶を局所的に壊すことで結晶を大きくするという、従来法とは根本的に異なる革新的なタンパク質結晶育成法を開発した。
2. 本研究成果は、タンパク質の大型結晶作製とそれを利用したタンパク質分子構造の解明に貢献し、様々な生命現象のメカニズム解明に繋がることが期待できる。

タンパク質は様々な生命現象を支える重要な物質であり、タンパク質の分子構造はその機能を調べる上で必要不可欠な情報です。一般的に、タンパク質の分子構造を知るためには、まず大きい単結晶（数十ミクロン以上）を作製し、X線や中性子線により解析します。しかし、タンパク質は結晶成長の駆動力が弱く、分子構造の解析に必要な大きさの結晶を得ることが難しいケースが多々あります。

共同研究グループは、フェムト秒レーザーアブレーションという光誘起現象により、タンパク質の結晶面の一部を破壊すると、その結晶面の成長が数倍以上加速するという新奇な現象を発見しました。興味深いことに、レーザー破壊箇所を含む、成長した結晶のX線回折パターンを測定したところ、結晶品質の劣化は認められませんでした。さらに、この新奇な結晶成長現象のメカニズムを光学顕微鏡やX線トポグラフィにより調べた結果、レーザーによって破壊された箇所から、結晶成長の駆動力が大きい渦巻き状の成長様式（成長モード）が発生することを明らかにしました。このように能動的且つ時空間的にタンパク質結晶の成長モードを制御した例はこれまでになく、これらの結果は、本手法が大型タンパク質結晶作製におけるブレークスルーとなり得ることを示しています。

本研究成果により、今後、開発した手法が種々のタンパク質の大型単結晶の作製に応用され、様々な生命現象のメカニズム解明に役立つことが期待されます。



詳しい研究内容について

・“壊すことで大きくする”革新的なタンパク質結晶育成法を開発～様々なタンパク質の機能解明に期待～（プレスリリース）

【参考URL】

- ・ 吉川 洋史（ヨシカワ ヒロシ） | 研究者総覧
- ・ 理学部基礎化学科中林・吉川研究室
- ・ 論文が紹介されたNature Photonicsのウェブサイト

- ・ 研究成果のプレスリリースを行う場合は、同時にホームページにも掲載します。
- ・ ホームページの原稿作成は広報渉外室が行います。

研究トピックス（受賞・表彰報告）

小林信一 名誉教授が国際会議ISDEIV2016において、Walter P. Dyke Awardを受賞しました

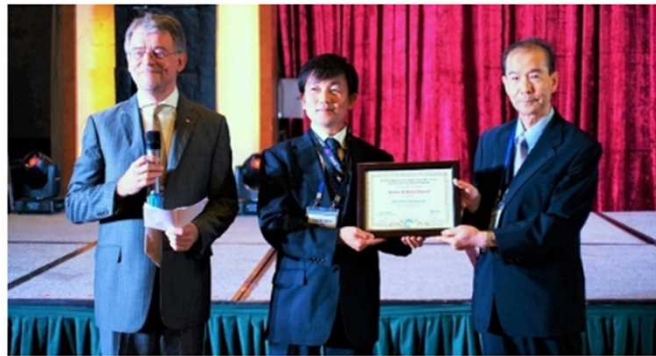
2016/10/25

小林信一 名誉教授（1969年理工学部卒）が2016年9月に中国 蘇州で開催された国際会議 ISDEIV2016 (International Symposium on Discharge and Electrical Insulation in Vacuum, 真空中の放電と絶縁に関する国際会議)において、同国際会議で最も権威の高い“Walter P. Dyke Award”を受賞しました。この賞は、真空中の放電と電気絶縁の分野に最も貢献した研究者に授与されるものです。

【受賞理由】

研究業績題目「真空中の電気絶縁特性に関する研究-In-situ 表面分析と真空絶縁破壊測定」

小林信一 名誉教授は、本学において表面処理・分析および高電圧試験を真空中で一貫して行うことができる実験装置を開発され、真空絶縁破壊現象における電極表面状態の把握の重要性を指摘し、高電圧電極や電気絶縁材料の表面状態とこれらの真空中の絶縁破壊現象の基礎的なメカニズムを明らかにされてきました。これらの研究成果は、加速器や電力用真空機器の放電制御と耐電圧向上に大きく貢献しました。また、日本における真空絶縁分野の先駆者として、同分野の研究を常にリードし、多数の後進を育てました。以上の功績が高く評価され、同賞の受賞に至りました。



受賞式での記念撮影（右：小林名誉教授）



贈られた賞状



受賞講演の様子

【参考URL】

- ・小林 信一（コバヤシ シンイチ） | 研究者総覧
- ・国際会議ISDEIV2016ウェブサイト

本文について

5W

いつ（受賞・表彰年月日）
どこで
だれが（所属・職名・氏名）
なにを（受賞・表彰名等）
なぜ（評価の理由、成果、今後の期待）
＋
参考情報（受賞・表彰内容等掲載ページURL）

写真について

- ・授与式の写真
（なければ、学内等で賞状を持った本人の写真）
- ・賞状と記念品の写真
- ・授賞式での記念講演の写真

イベント（講演会・セミナー）

【1月30(月)】「理工学研究科戦略的研究部門 公開シンポジウム」を開催します

2016/12/21

埼玉大学は、2013年度に採択された文部科学省「国立大学改革強化推進事業」の一環として、本学の研究力強化を目的に、2014年4月、理工学研究科に戦略的研究部門を新設しました。戦略的研究部門は、ライフ・ナノバイオ領域、グリーン・環境領域および感性認知支援領域の3研究領域で構成され、研究分野を超えたダイナミックな研究プロジェクトを展開しています。

この度、各領域の取り組みとこれまでの研究成果を報告するために「戦略的研究部門公開シンポジウム」を開催することとなりました。戦略的研究部門の活動に関心をお持ちの方等、学内外の皆様のご参加をお待ちしております。

日時	2017年1月30日（月）13:25～17:00（受付12:55～）
会場	埼玉大学 総合研究棟 1F（キャンパスマップ 21番） さいたま市桜区下大久保255（アクセスマップ） JR埼京線南与野駅よりバス約10分 JR京浜東北線北浦和駅よりバス約15分
プログラム	シンポジウム開催ポスターをご覧ください。
対象	学内外の研究者、学生等
参加方法	事前参加登録は不要です。 当日受付にて、お名刺のご提出またはご記帳をお願いいたします。 参加者の個人情報は、本シンポジウム以外の目的には使用いたしません。
参加費	無料
主催	埼玉大学理工学研究科、研究機構
お問い合わせ	埼玉大学研究機構URAオフィス 電話 048-714-2068 E-mail rao@gr.saitama-u.ac.jp HP http://ura.saitama-u.ac.jp/



必須項目

<本文>

- ・ イベント名、開催の背景や目的

<リスト>

- ・ 日時
- ・ 会場
- ・ 対象者
- ・ 参加方法（事前登録の有無など）
- ・ 参加費
- ・ 問合せ先

ご協力のお願い

イベント終了後、ニュースの発信にご協力（記事・写真のご提供）をお願い致します。

メディア情報（テレビ出演）

【テレビ出演】9月3日(土)NHKワールド『Medical Frontiers 特別版』に大学院理工学研究科 菅沼雅美 教授が出演します

2016/8/22

本学教員出演のテレビ番組が次のとおり放送されます。是非、ご覧ください。

番組名	NHKワールド『Medical Frontiers 特別版』
出演教員	大学院理工学研究科 菅沼雅美 教授
放送日時	9月3日（土）1日4回放送（日本時間） 8：10－9：00 14：10－15：00 20：10－21：00 26：10－27：00（4日（日）2：10－3：00） http://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/live/ （リアルタイム放送） http://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/vod/ （放送日から2週間の間、オンデマンドで視聴できます）
内容	和食と健康について、緑茶のがん予防について

---変更等の場合はご容赦ください---

【参考URL】

・ [菅沼 雅美（スガヌマ マサミ） | 研究者総覧](#)

必須項目

<リスト>

- ・ 番組名
- ・ 出演教員
- ・ 放送日時
- ・ テーマ・内容
- ・ 参加費
- ・ 参考情報（番組ホームページURL）

ご協力をお願い

情報提供は2日前までをお願いします。
（今日の放送では、情報が行き届かないこともある）